



第17回  
佐賀県食育賞

応募締切  
令和5年12月21日(木曜日)  
表彰式  
令和6年6月予定

問合せ先：佐賀県くらしの安全安心課

食育・計量担当 電話：0952-25-7069

FAX：0952-25-7327

あらゆる**食育**に関する活動で応募できます

## 部門及び募集対象者

### **ボランティア部門**≪市町長又は大学等の長からの推薦≫

- ① 食生活改善推進員及び食生活改善推進員で構成される団体
- ② 食育の推進に関わるボランティアとして活動している個人又は団体
- ③ 食育の推進に関わるボランティアとして活動している大学、高等専門学校及び専門学校の学生又は学生主体の団体

### **事業者部門**≪自薦・他薦（市町長を含む）≫

- ① 介護その他の社会福祉、医療、保健に関わる者、関係機関、関係団体
- ② 農林漁業者、農林漁業者を組合員とする協同組合及び集落営農等農林漁業者グループ
- ③ 食品製造・販売その他の事業活動に従事する者

### **教育関係者部門**≪自薦・他薦（市町長・園長等・所長・校長を含む）≫

- ① 教育及び保育に関する職務従事者、関係機関、関係団体（認定こども園・幼稚園・保育所・小中学校・高等学校等）



## 取組事例

## 第16回佐賀県食育賞を受賞された皆様です

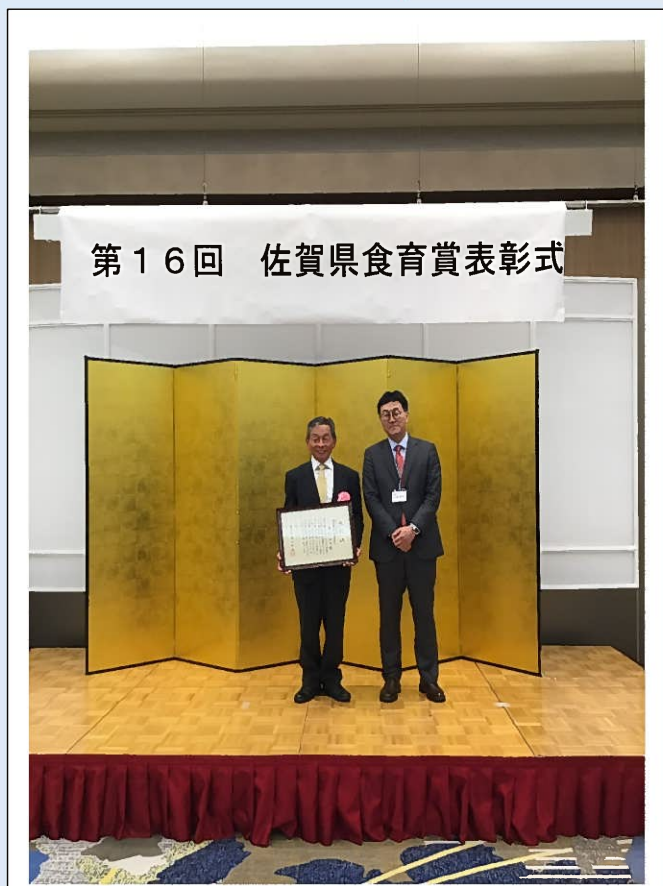
### ボランティア部門



一般社団法人かがみこどもプラザ 様

- 先進的な「食」に係る事業を実施している。
  - ・「かがみこども食堂in 鏡公民館」＝家庭的な料理を提供し食育学習等を行う
  - ・「あさごパン」＝朝食抜きで登校している児童に対してパンとスープを提供する
  - ・「子ども定期便」＝孤食や自立した生活が難しい家庭へ訪問支援をし、基本的な生活習慣の習得や一緒に遊び学びを行っている。
- 「楽しい・見つける・食べる」を大切に活動されているため、子どもたちは感謝の気持ちと素直な心を養い、お腹も心も頭も満たされている。
- これまで24年間にわたって継続してきた活動は、近隣の小中高校をはじめ、町内会や民生委員児童委員と密に連携し、地域に強く根付いている。  
以上のことなどが評価されました。

### 教育関係者・事業者部門



幸松 伝司 様

- 長年、市民住民に対しての継続的な食育活動、教育機関とも連携し、多岐にわたる積極的な食育活動を行っている。
  - ・田植え体験・稲刈り体験・芋植え付けと収穫体験（小学生）
  - ・黒米料理と田舎料理体験（保育園児、修学旅行生）
  - ・黒米やタマネギの皮などを使った草木染体験（保育園児・小中高生・一般）
  - ・黒米を使った加工品の研究、開発（伊万里実業高校）など
- これらの活動を通して、子どもたちは豊かな心を育んでいる。
- 幸松氏は個人での食育活動の他、NPO 法人伊万里はちがめプランに所属し、伊万里市川内野地区の安全安心な食づくりを推進している。  
以上のことなどが評価されました。



黒田 香織 様

○佐賀の食材を教材とした食育で子どもの心身の発達、健康促進に寄与し、食文化の知識・技術を次世代へ伝承する活動を実施されている。

- ・「青空キッチン」＝幼児小学生を対象に、行事食や歴史に触れ、食を題材に読み書きや創造の時間を設けている。
- ・「おむすびころりん」＝未就学児親子を対象に佐賀県産（米・海苔・塩）を使ったおむすび作り体験など

○これらの活動を通じて、家族のふれあいの時間が増加。また、自分たちが普段口にかけている野菜を自ら家庭菜園で育てるなど、食材に対する意識の高揚につながっている。

○活動から5年、生産者、団体、学校と協力しながら食育活動ができており、これまで以上に「継続してほしい」「応援している」という声が多く寄せられている。

以上のことなどが評価されました。



佐賀県立伊万里実業高等学校

フードプロジェクト部 様

○平成27年度より、地域農産物を使った商品開発に取り組んでおり、地産地消の推進、規格外農産物の有効活用を進めている。

○近年食品ロス問題が深刻化していることから、「食品ロス問題に地域一丸となって取り組む仕組み作り」と「地域未来を担う子どもたちへの食育活動」に取り組んでいる。

- ・フードドライブ＝集まった食品は宅食便として、ひとり親世帯家庭や児童クラブへ届けている。また、食品の一部を活用したお菓子作り教室を開催している。
- ・ふるさと納税返礼品＝地域の食材を使った手作りお菓子がふるさと納税返礼品として採用され、全国各地へ届けられているなど

○これらの取組は他の地域にも波及し、令和3年12月には農林水産省と内閣官房が選ぶ農山漁村活性化の優良事例として表彰された。以上のことなどが評価されました。





社会福祉法人旭福社会日新こども園 様

○地域のいろいろな知識や経験、特技を持つ方たちとの連携により独自の食育活動を行っている。

- ・筍体験
- ・夏野菜の栽培
- ・ごまの栽培
- ・おにぎりづくり
- ・梅ジュース梅ジャムづくり
- ・芋堀り、石焼ピザづくり など

○これらの活動を通して子どもたちは食への興味・関心が一段と高まっている。また、体験することでチャレンジ精神が身につき、取組に対する活動意欲が高い。

○収穫された野菜を近隣の住民（高齢世帯）に配布するなど、地域との交流も欠かさず行われている。そのため、一人で過ごす高齢の方たちへ笑顔や元気を届けるきっかけづくりになっている。

以上のことなどが評価されました。

**募集締切**

令和5年12月21日（木曜日）

## 募集方法

以下のホームページにアクセスしていただき、専用の推薦調書をダウンロードしてください。

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00388550/index.html>

## 佐賀県ホームページ

第17回佐賀県食育賞の取組募集中!!

自薦・他薦の場合は、くらしの安全安心課食育・計量担当まで必要書類をメール又は郵送で提出してください。

Email:syokuiku@pref.saga.lg.jp

住所：〒840-8570

佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号

佐賀県くらしの安全安心課

## 審査方法

有識者等で構成される審査会において、応募関係書類による審査を行い、受賞者を決定します。

※受賞者決定は、令和6年3月頃の予定です。